

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電気工学コース											
資格対策講座 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	菅原 宏之			実務 経験	有	職種	電気工事および電気主任技術者業務				
担当教員紹介											
<p>本校で30年以上の電気工学に関する教育経験および本校関連施設の電気設備の電気主任技術者としての実務経験を持つ。 保有資格は、第二種電気主任技術者、第一種電気工事士。</p>											
授業概要											
<p>第二種電気工事士資格の取得を目指し、第二種電気工事士国家試験の筆記試験の受験に必要な知識を学ぶ。 また既に電気工事士資格を有する者には授業を通して知識の再確認と向上を目指す。</p>											
到達目標											
<p>第二種電気工事士国家試験の筆記試験合格を目指す。</p>											
授業方法											
<p>第二種電気工事士試験に出題される内容について過去問などを参考にして学習する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する その他 20% 第二種電気工事士国家試験の可否も考慮する</p>											
履修上の注意											
<p>既に電気工事士資格を有する者も知識の再確認と向上を目指す 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない</p>											
教科書教材											
<p>資料を配布する 第二種電気工事士筆記試験標準解答集/オーム社</p>											
回数	授業計画										
第1回	電気に関係する資格を理解する。電線の許容電流を覚える										
第2回	過電流遮断器の容量とコンセントの組合せ等および幹線と分岐線の関係を理解する										
第3回	電気工事の施工に必要な知識を理解する										
第4回	電線の抵抗、オームの法則、抵抗、インピーダンスを理解する										
第5回	電動機、照明器具および接地抵抗と絶縁抵抗の許容値などについて理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科/電気工学コース	
資格対策講座 1	
第6回	電気工事で使用する器具、工具の知識を付けるとともに屋内配線図を読めるようにする
第7回	電気工事士法、電気工業法、電気用品取締法より主題される内容を理解する
第8回	単線図を複線図に直せる。出題内容の60%以上正解が得られるようにする